

Japanese Melanoma Study: Annual Report 2015

皮膚悪性腫瘍学会皮膚がん予後統計委員会 担当委員 藤澤 康弘 (筑波大学)

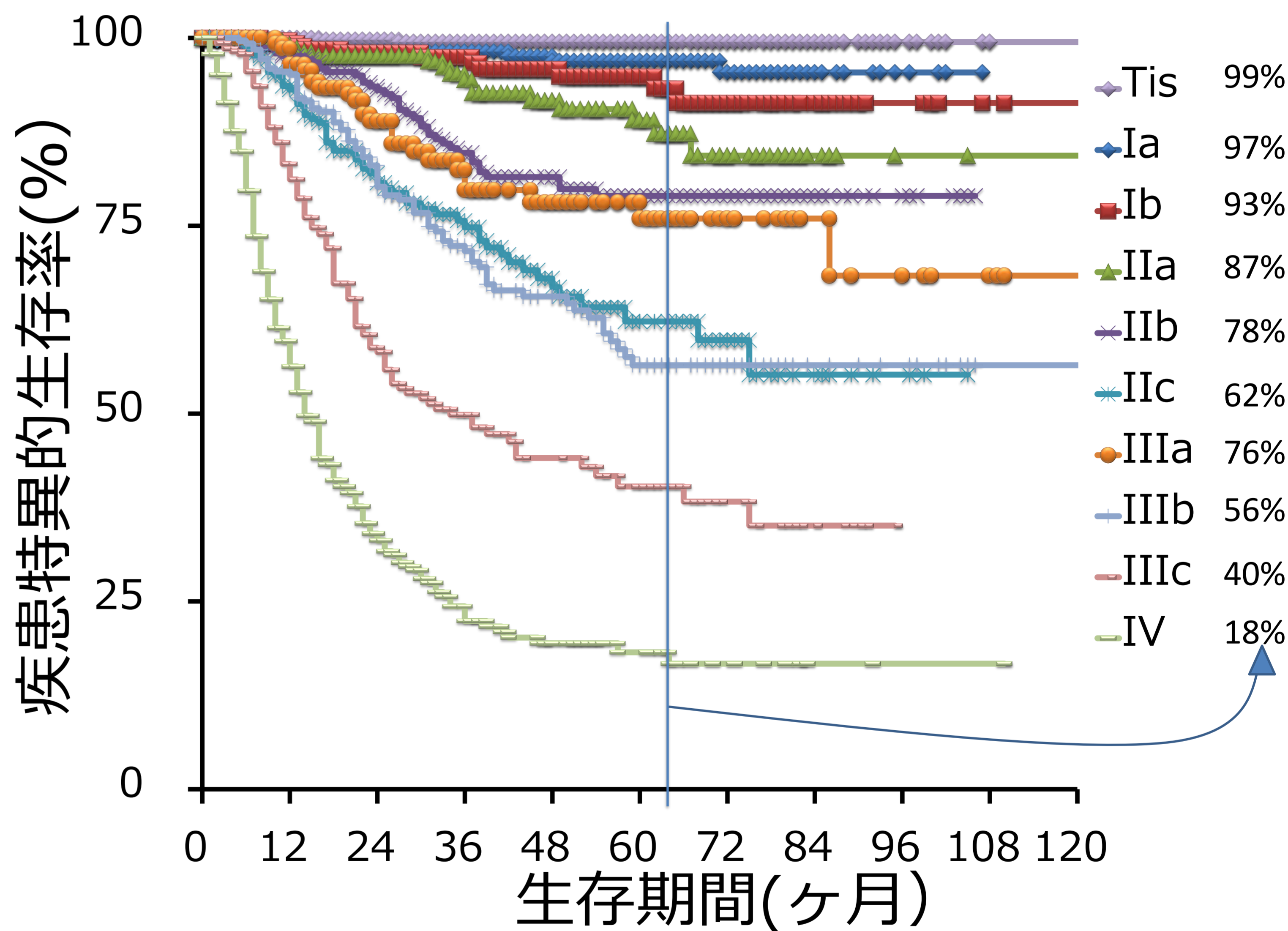
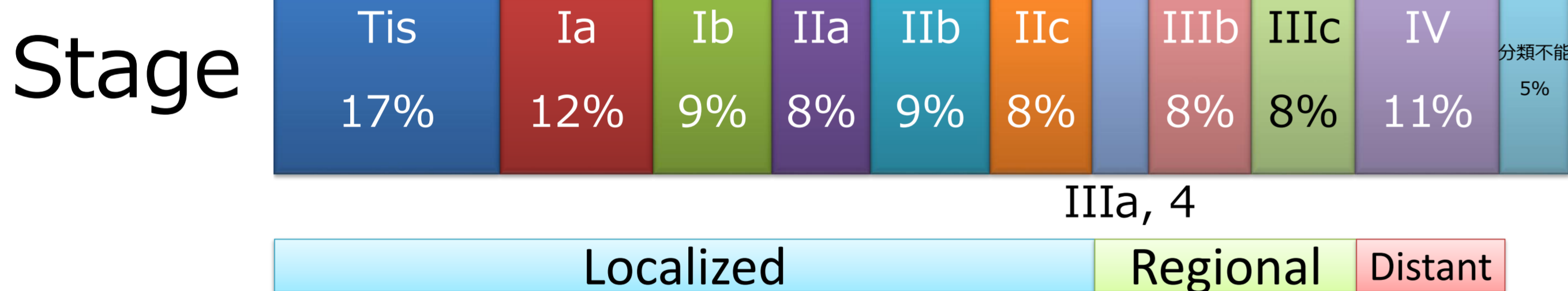
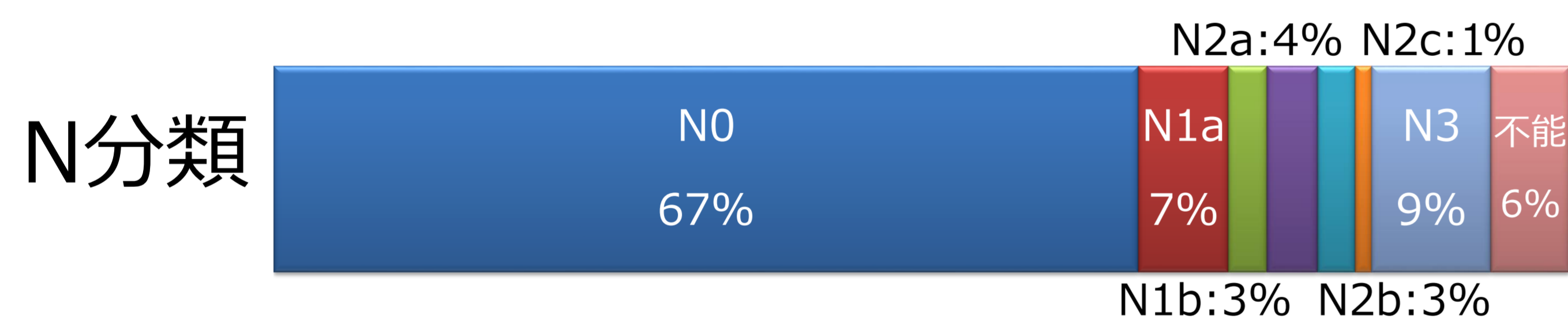
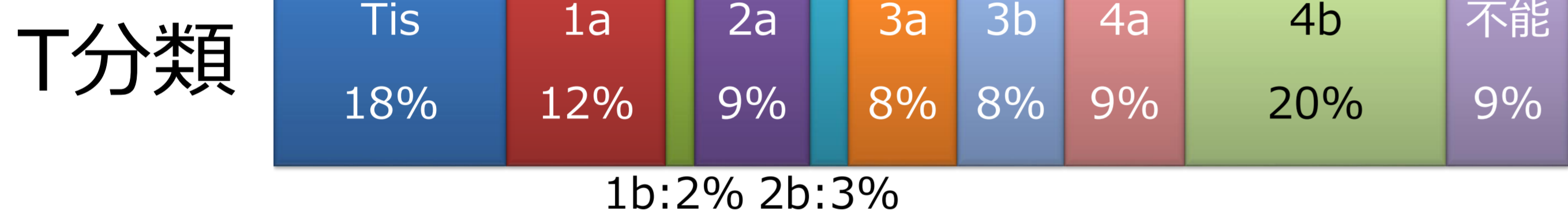
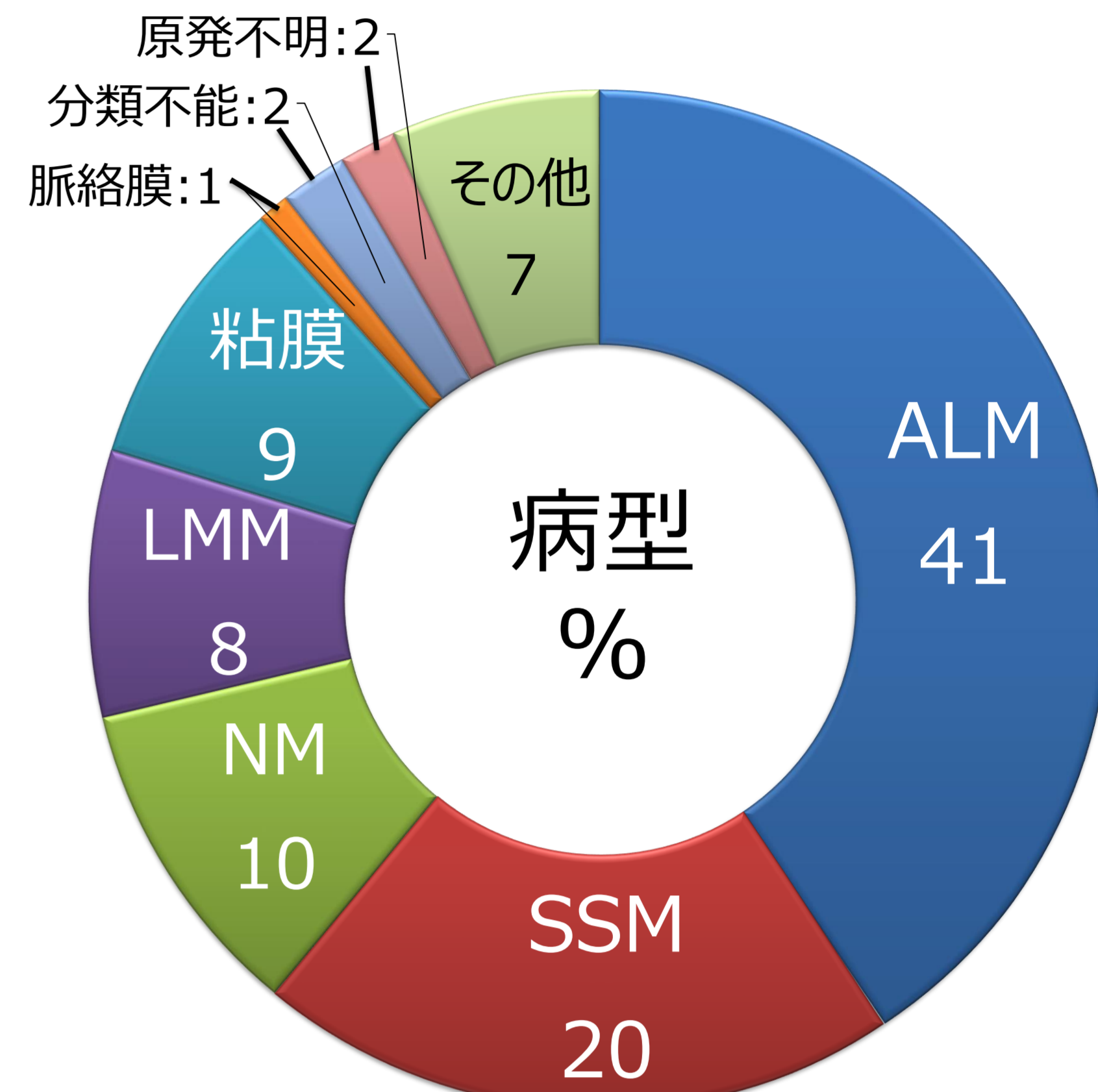
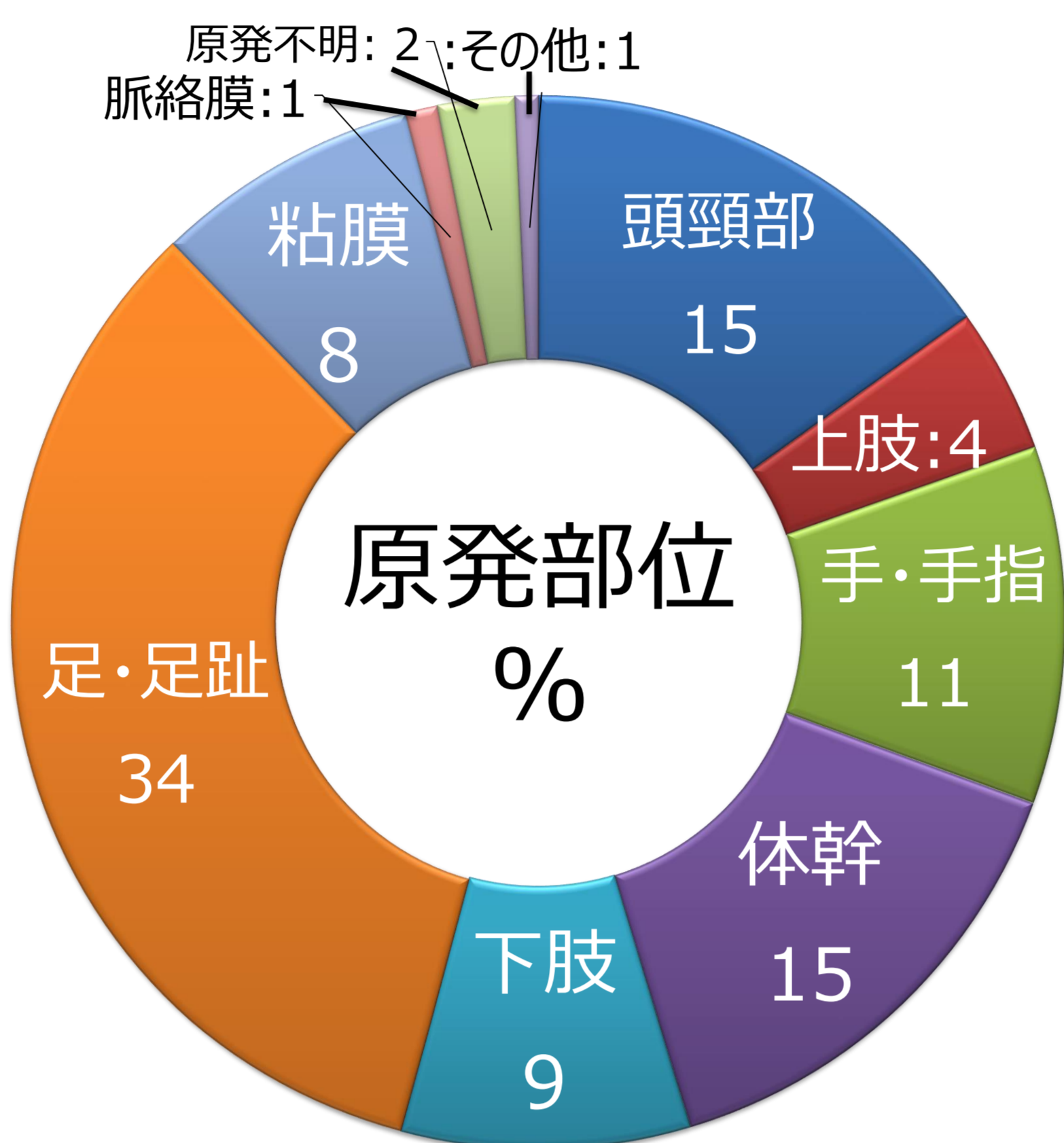
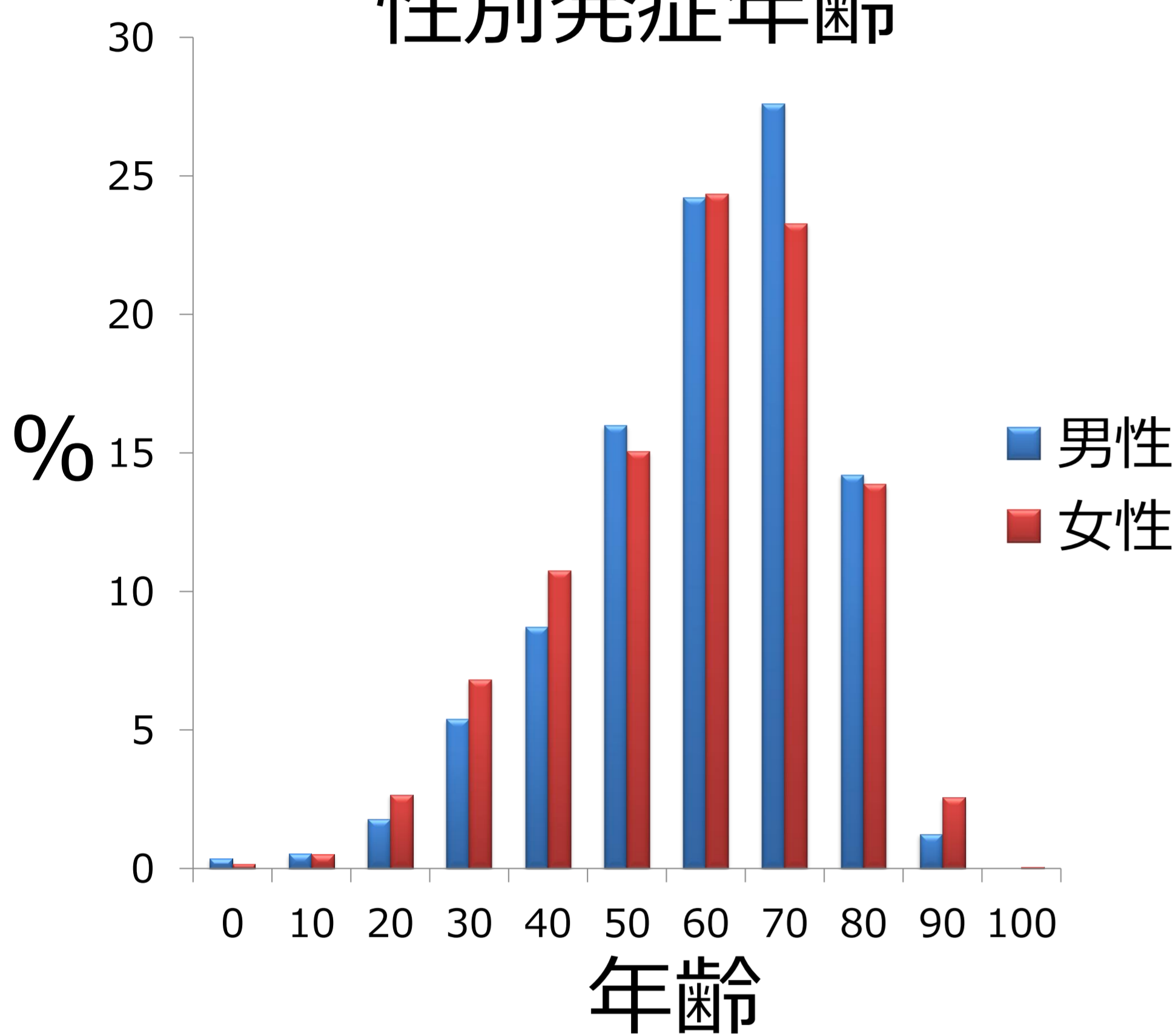
総症例数 : 3708症例

研究協力施設(アイウエオ順, 敬称略)

年齢	受診までの期間	
平均	63.8歳	平均 72.0ヶ月
中央値	66.0歳	中央値 24.0ヶ月
性別		
男性	1719例	他腫瘍あり 287例
女性	1985例	家族歴あり 93例

旭川医科大学	上原 治朗	新潟県立がんセンター	竹之内 辰也
岡山大学	山崎 修	神戸大学	藤原 進
岐阜大学	渋谷 佳直	静岡がんセンター	清原 祥夫
京都府立医科大学	竹中 秀也	大阪市立大学	加茂 理英
九州大学	内 博史	筑波大学	藤澤 康弘
熊本大学	尹 浩信	東京大学	門野 岳史
虎の門病院	岸 晶子	東北大学	橋本 彰
国立がんセンター	山崎 直也	日本医科大学	帆足 俊彦
埼玉医科大学医学部附属病院	土田 哲也	浜松医科大学	藤山 俊晴
埼玉医科大学国際医療センター	山本 明史	富山県立中央病院	八田 尚人
埼玉県立がんセンター	石川 雅士	福岡大学	柴山 慶継
札幌医科大学	山下 利春	北海道大学	古川 洋志
産業医科大学	日野 亮介	名古屋大学	横田 憲二
信州大学	皆川 茜		

性別発症年齢



分子標的薬の施行状況

症例数	131
延べ治療	151
内訳	
抗PD-1 抗体	117
BRAF阻害剤	23
抗CTLA-4抗体	7
MEK阻害剤	3
その他	1

ファーストライン	133
抗PD-1 抗体	113
BRAF阻害剤	14
抗CTLA-4抗体	4
MEK阻害剤	2
セカンドライン以降	18
抗PD-1 抗体	4
BRAF阻害剤	9
抗CTLA-4抗体	3
MEK阻害剤	1
その他	1

治療効果	1st	2nd~
CR	4 (5%)	0
PR	16 (20%)	3 (33%)
SD	13 (16%)	1 (11%)
PD	46 (58%)	5 (56%)
CR+PR		
抗PD-1抗体	16	
BRAF阻害剤	6	

抗PD-1抗体による治療が最も多く、次いでBRAF阻害剤
奏効23例中、抗PD-1抗体が16、BRAF阻害剤が6例
BRAF阻害剤はセカンドライン以降に多い> 発売時期が影響している可能性